

Rotary

国際ロータリー
第2620地区御殿場
ロータリー
クラブ

週報

御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

第2659回 例会プログラム

- 例会場／名鉄菜館 ●開会点鐘／12:30
- ロータリーソング／奉仕の理想
- 内 容／一泊例会を変更して「会員親睦例会」親睦活動委員会

会 員 慶 事

- 会員誕生日／6月17日 長島 和彦君
6月21日 森田 義彦君
- 夫人誕生日／6月21日 林 則夫君 ご夫人 三枝様
6月22日 戸栗 太平君 ご夫人 久美子様
- 結婚記念日／6月21日 豊山 徹也君 洋子様 ご夫妻
6月21日 長島 和彦君 亜希子様 ご夫妻
- 皆 出 席／6月9日 井上 元君(ロータリー歴17年)
6月12日 勝間田太住君(ロータリー歴19年)

会 長 挨 拶

橋 本 喜 市



本日は、御殿場ロータリークラブ創立55周年記念例会です。本来であれば、地区の関係者、並びにご来賓の方々をお招きするところではありますが、コロナ禍での開催ということで、残念ながらお招きすることを断念し、通常例会の形での開催となりました。しかしながら、本日は名誉会員であります菅沼久様も駆けつけて頂き、久しぶりにお元気な顔を拝見することができ、誠にうれしく思います。

ここで、「10年のあゆみ」の記念誌の中で、私の父の文章を一部抜粋、引用させていただきます。

「振り返ってみますと、沼津北ロータリークラブが発足して間もない頃に、御殿場にもロータリークラブを創設したらどうかとのガバナー事務局から要請がありました。時期尚早とのことで、見送られましたが、1966年昭和41年に白山ガバナーが就任され、その要請が強く打ち出され、当時、御殿場から沼津クラブに1名、沼津北クラブに4名が所属していました。そして、この5名をキーメンバーとして、御殿場にもロータリークラブを創設しようという使命感が芽生えて行きました。1966年昭和41年9月26日の沼津北クラブの白山ガバナーの公式訪問に於いて、ガバナーと浅賀沼津北クラブ会長との会談で、御殿場クラブを誕生させることが決定された。ただ、当時5名にはロータリーについて未知な点も多く、多分に不安を感じ

じたこともありましたが、使命感は日増しにつのり、遂にはこれらの不安を燃え尽くしてしまうに及んで我々の決意が固まったのである。先ず、メンバー集めが始まり優秀な人達を、各々担当を決めて家庭訪問をして説得を続け、次々に賛同を得られ次第に機が熟してきたのである。かくして1967年昭和42年6月1日、東山荘斎藤記念館にて厳かにして晴れやかに創立総会が挙行され、ここにめでたく御殿場ロータリークラブが誕生したのである」と記述してありました。

御殿場ロータリークラブ誕生まで、一年に満たない短い時間での5名の情熱と行動力にはただ敬服するしかありません。このようにして、沼津北ロータリークラブをスポンサークラブとして、30名の創立会員で創立されました。その30名の創立メンバーの中には、現在名誉会員であります菅沼久様も含まれております。

この55年の歴史の間には、30名の創立会員の皆様の熱意と情熱、そして、今まで築いて来て頂きました、諸先輩方、歴代の会長、幹事、役員の方々のご努力を決して忘れてはならないことだと、改めて感じたところです。社会の情勢は、日々刻々と目まぐるしく変化しており、明日にしても不安を募らせる毎日です。こんな時代だからこそ、私達ロータリアンはロータリーの精神を理解し、前を向いて、これからも更なる発展を目指して行きたいと思います。

会長挨拶用
QRコード

SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう

みんなの人生を豊かにするために

次 回
6月23日の
例 会★東山荘記念館
★12:30点鐘
★第3回クラブ協議会 全員

クラブ創立55周年記念 卓話

米山梅吉・はる夫妻とつながる 若き日の思い出



天野 晶子 様

大正12年9月1日に東京は未曾有の地震に襲われました。この関東大震災の3カ月後、アメリカより大統領夫人を視察団長とする震災慰問復興視察団が来日しました。その視察団にアメリカの材木王グリグス夫妻が同行しておりました。使節団は実践女学校を訪問いたしました。

その時、実践女学校の高学年に在籍していた私の母、のちの根上ツナ子は、ご挨拶を述べる機会を得ました。この英語での挨拶にグリグス夫妻は感心し、子供がいなかった夫妻はこの女子をわが子のように育てたいと熱望しました。

母ツナ子自身も留学に抵抗はなく、周囲の理解もあったので、アメリカ東部ペンシルバニア州チェンバースバーグにあったペンホール大学への留学が決まりました。このチェンバースバーグはのちに御殿場市と姉妹都市提携を結ぶ事となります。母はアメリカで5年間学び、帰国しました。一方私の父、根上耕一は、コロンビア大学に留学し、青年時代をアメリカで過ごしました。

そんな両親のもとに生まれた私と姉節子と弟眞一は、青山学院緑岡幼稚園の1期生、2期生、そして4期生として入園しました。なぜ両親が緑岡幼稚園を選んだのか、今では知る由もありませんが、私の祖父、根上耕太郎は、米山梅吉様より3歳年下の明治4年生まれであり、沼津中学校の後輩でもありました。

その後、米山様との交流があったと考えられます。祖父が父へ幼児教育（特に情操教育）の重要性を説き、米山様そして緑岡幼稚園を紹介したと推察されます。また母は、アメリカ生活の中でキリスト教に感銘を受けて過ごし、その教育方針に賛同しており、両親ともに外国とのつながりがあったことなどの巡り合わせが、私たちを緑岡幼稚園へと導いてくれたのではないかと思います。この緑岡幼稚園と小学校は米山梅吉様が私財を投じた学園であり、創設後、米山梅吉様が小学校の校長になり、妻のはる様が幼稚園の園長を務められておられました。

緑岡幼稚園での生活はとてものびやかで楽しいものでした。園長先生の米山はる様は、子供からするとしっかりしたおばあちゃま、という感じでした。私たちはまだ幼く自分のことで精いっぱいだったので、こちらから声をかけることはありませんでしたが、写真を撮るときにはいつも中心にはる様が座っていらっしゃいました。

緑岡幼稚園は、私が物心ついてはじめて外の世界に接した最初の思い出として、静かな平和な温かい心のこもった小さな園として、心の中に生きています。

幼稚園から小学校まで青山学院に通いましたが、小学校の最高学年の昭和19年8月、学童疎開で静岡県田方郡上狩野村の落合楼に行くことになりました。湯ヶ島では、地元の婦人会の方々が寮母さんとして、とても親身にお世話をしてくださいました。私はある程度大きくなっていたので、疎開中ホームシックになることはなく、充実した日々を送っていました。

昭和20年3月10日、6年生は東京に帰りました、未明に大空襲があったので、予定よりかなり遅れて東京につきました。山の手は被災を逃れ、青山学院で解散し、各自自宅へ向かいました。

空襲が頻繁になり、卒業式も中止となりました。4月の新学期に向けて東京の家は他人に任せて、私たち一家は御殿場に移りました。落合楼にいた弟は5月に迎えに行きました。5月25日には、目黒の家が焼けました。父は御殿場の12代続く名主でしたが、事業を起こして東京で生活していました。

目黒の家がなくなったので、父の実家のある御殿場に生活が移りました。それまで電車通っていた学校も御殿場では一里の道のりを歩いて通いました。ここで、私の生活は青山から大きく離れていきましたが、青山での思い出は私の中では宝物であり、また生きる基本になっています。

月日は過ぎ、昭和53年から主人の会社のご縁で横浜市鶴見区の家に住住しております。自宅前の道路を隔てた向かい側は広大な総持寺の境内が繰り広げられています。平成27年に主人がなくなり、総持寺のお墓参りをするようになりました。主人の墓所の近くに米山梅吉様のお墓がありました。短形の広い墓地には褐色がかった灰色の大きな墓石が建っています。表には「米山家之墓」裏には「昭和二年六月 米山梅吉建立」と彫ってあります。

大正10年長男が急逝され、大正15年次男も亡くなった米山様がお子様達を偲んで建てられたのでしょうか。なぜ総持寺に建てられたのかわからないまま、主人のお墓参りに行くたびに、米山様のお墓の前でも手を合わせる様になりました。70年以上の時を経て、再び米山様に会ったような気がしました。

9月には御殿場に住む弟から、長泉に米山様の記念館があると聞いて記念館を訪れました。記念館は想像以上に広い敷地で、明るく親しみのある建物でした。あらためて米山様の面影を思い出し、私財を投じて世に尽くされたお姿に感銘を受けました。記念館の展示室では園長が真ん中に座っている緑岡幼稚園一期生の写真を見つけました。姉は真ん中の列左から5番目です。

令和2年11月、暖かい日差しに誘われて、いつもより早く墓参りにと家を出ました。米山家の墓地の前に自転車が止めてあり、背の高い男性が草を刈っていました。私が声をかけると、元ロータリークラブのメンバーとのこと。「天気がいいので掃除に来た」とおっしゃっていました。「米山さんがいなければ日本のロータリーはなかった」と草むしりに精を出していらっしゃいました。草の根がはびこっていて作業が大変だとは思いますが、その後何度かお掃除をしてくださり、見違える様に黒土が甦り、きれいな墓地になっていきました。

12月末には墓石も洗い清められ、生花も供えられ、令和3年の新年を泉下の米山梅吉様は、さぞかし喜んでいらっしゃるとうれしく思っております。





在籍35年以上会員(記念写真)

クラブ創立55周年記念例会



司会 勝又 洋君



来賓紹介 勝又 誠君



米山記念館 市川真理様 目録贈呈



VISION

雲峰富士の麓、自然豊かなYMCA東山荘に
御殿場ロータリークラブは集います。

楽しみが有っての出席
出席が有っての親睦
親睦が有っての奉仕
奉仕が有ってのロータリー

私達は
様々な人達が公平で尊敬し合え
夫々の職業を通して社会に奉仕し
自分自身と社会の為になるクラブを目指します



Rotary 御殿場ロータリークラブ GOTEMBA ROTARY CLUB 御殿場 小山 地域社会との連携

6/9の出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
55名	52名	47名	90.38%	100%

欠席者(5名)

※やむを得ず欠席される方は、
午前9時50分までにご連絡下さい。



出席報告
鎌野篤志君



幹事報告
渋谷 一君



会員誕生日
勝又 厚君



皆出席
勝又 淳君



皆出席
長田 崇君

Rotary 国際ロータリー第2620地区

御殿場ロータリークラブ

○例会日/木曜日
○例会場・事務局/YMCA 東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会長 橋本 喜市
幹事 渋谷 一
会報委員長 長島 和彦